

人生100年時代を 生きる ～健康長寿と酸化ストレス研究～

第34回日本酸化ストレス学会関東支部会



主催 日本酸化ストレス学会関東支部 (<http://sfrrj-kanto.blog.jp/>)

共催 日本抗加齢医学会、芝浦工業大学

科学的根拠に基づく健康寿命を伸ばす会(PH会)、九州トランスレーショナルESR研究会

後援 日本酸化ストレス学会

日時

2020年2月29日(土)

9:00～18:30 (予定)

2単位

日本抗加齢医学会
認定単位
(受験用・更新用)

会場

芝浦工業大学芝浦キャンパス

JR山手線・京浜東北線「田町駅」芝浦口から徒歩3分
都営地下鉄三田線・浅草線「三田駅」から徒歩5分

特別講演

I.「酸化ストレスとエネルギー代謝の分子進化論
－活性酸素と硫黄の分子ミメティクス－」

赤池 孝章 東北大学大学院医学系研究科

II.「酸化ストレスのがん細胞応答」

稲波 修 北海道大学大学院獣医学研究院

- 日本抗加齢医学会共催シンポジウム ・最新の抗加齢医学
- 明日からの臨床に役立つ酸化ストレス ・検査法と診断・対処
- ランチョンセミナー ・臨床における酸化ストレスと病態
- 酸化ストレス研究者の集い ・レジェンド研究者との研究交流
- 口頭発表・ポスター発表の希望者から優秀発表賞が選ばれます！

※詳細なプログラムは裏面をご覧ください

会長 李昌一 神奈川歯科大学

参加費

日本酸化ストレス学会会員3,000円

日本抗加齢医学会会員7,000円(テキスト代含む)

非会員 5,000円

懇親会費 2,000円

学生 懇親会含み無料！

※昼食のご用意は
ございません

会場へのアクセスマップ



口頭発表・ポスター発表演題締切り：2月14日(金曜日)

参加申込書、口頭発表・ポスター発表申込書を<http://sfrrj-kanto.blog.jp/>にてダウンロードしてしてください。

記入した申込書を下記までメールあるいはFaxにて送付してください。

演題応募問い合わせ/送付先：

日本酸化ストレス学会関東支部会事務局Tel/Fax: 046-822-9554 E-mail: sfrrjk@kdu.ac.jp

プログラム ダイジェスト

A会場

9:00～12:00

一般発表

酸化ストレス研究者の現在行われている、アップデートな研究について一般発表とディスカッションをします。

10:50～12:00

ポスター発表 閲覧

12:00～13:00

ランチョンセミナー

臨床における酸化ストレスと病態

～神経救急疾患を中心に～

土肥 謙二 (昭和大学医学部)

酸化ストレスの重要性は認知されている一方で、臨床への応用は難しい。その要因はモニタリングと評価の難しさにある。酸化ストレスのモニタリングの現状と将来性などについて神経救急疾患を中心に解説します。

13:00～15:00

日本抗加齢医学会共催シンポジウム

13:00～14:00

口腔から考える全身の抗加齢医学

斎藤 一郎 (鶴見大学歯学部)

口腔の重要性は健康寿命の延伸に欠かせないものとなっています。口腔と全身の抗加齢医学における基礎と臨床について概説します。

14:00～15:00

経験的な漢方治療を抗加齢に活かす

～漢方にみる「抗加齢-抗酸化パラドックス」～

平山 暁 (筑波技術大学東西医学統合医療センター)

抗酸化は抗加齢医学及び漢方治療両者における主要な治療戦略であるが、加齢や虚証に用いられる漢方方剤は著しく抗酸化能が低いものが多い。本講演では抗酸化力の弱い漢方方剤の解析から、漢方抗加齢における抗酸化戦略につき概説します。

15:00～17:00

特別講演 I

15:00～16:00

「酸化ストレスとエネルギー代謝の分子進化論 -活性酸素と硫黄の分子ミメティクス-」

赤池 孝章 (東北大学大学院医学系研究科)

これまでの生命進化は、活性酸素、酸化ストレスの概念を中心に議論されてきた。一方、最近生体内で活性硫黄分子種が大量に合成され、抗酸化・シグナル制御、硫黄呼吸によるエネルギー代謝を営んでいることが明らかとなった。そこで、本講演では、硫黄呼吸の新たな概念のみならず、活性酸素と活性硫黄の分子ミメティクスなどレドックス研究の新たなパラダイムを提言します。

特別講演 II

16:00～17:00

酸化ストレスのがん細胞応答

稲波 修 (北海道大学大学院獣医学系研究院)

酸化ストレスにがん細胞応答、とりわけ重要な細胞死は細胞内エネルギー代謝の変化によって大きく影響していることが知られています。本講演ではがん特有の代謝機構を概説すると共に私達が解明した酸化ストレスのエネルギー代謝応答と細胞死との関連について紹介し、さらにエネルギー代謝を標的とした新しいがん治療の可能性についても議論したいと思っております。

17:00～17:30

科学的根拠に基づく健康寿命を伸ばす会 (PH会) 共催企画

酸化ストレス研究者の集い

若手・女性研究者の集い

初めての酸化ストレス研究者・産学連携企業の方の質問コーナー

酸化ストレス研究者の意見交換、研究交流、酸化ストレスレジエンド研究者へ質問コーナーやアドバイスなど、自由な雰囲気の研究交流を楽しんで頂こうと思っています。

17:30～18:30

ポスター発表 奇数 17:30～17:50

偶数 17:50～18:10

B会場

9:00～10:40

口頭発表

酸化ストレス研究者の現在行われている、アップデートな研究について話題提供とディスカッションをします。

10:50～12:00

九州トランスレーショナルESR研究会共催セミナー

明日からの臨床に役立つ酸化ストレス

10:50～11:20

検査法 診断のための酸化ストレス測定の現況

李 昌一 (神奈川歯科大学)

酸化ストレスをどう測ればいいのか？臨床応用のための酸化ストレスの検査・評価法の現況を、具体的にわかりやすく解説します。

11:20～12:00

診断・対処 酸化ストレス測定の臨床応用への試み

佐藤 圭創 (九州保健福祉大学薬学部)

酸化ストレス研究は、ただ測ればいいのかという時代から、測ってどうそれを用いるかの時代へ進化してきた。新規酸化ストレス測定法i-STrap法を用いて、ヒト血液の酸化ストレスを測定することで、臨床患者の診断・治療に如何に貢献できる可能性があるか概説します。

18:30～ 懇親会 (学生無料、優秀発表賞発表)